出水中央高校新聞

発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
izumi.ac.jp

校訓
「協調」
「規律」
「勤労」



「身近なものの価値」



校長
宮原　義文

私は出水で生まれ、高校時代まで出水で過ごしてきました。教職に就いてからは転勤が続きましたが、現在は出水に居を構えています。久しぶりに生まれ故郷で生活するなかで気づいたことがあります。今回はそれを書きつらねたいと思います。

◆

いうまでもなく、出水はツルの渡来地として有名です。にもかかわらず、私はこれまでツルに興味を抱いたことがありませんでした。なぜなら、出水で生まれ育った者にとって、ツルは近くの田んぼでよく見かける、ごくありふれた冬の鳥に過ぎないからです。そういえば、小学生の時、校外学習か何かでツル渡来地に行ったおぼろげな記憶が残っています。しかしそれ以後、私が現地を訪れたことはなかったのです。

◆

その状況が一変したのはここ数年のことです。メディアでどのように紹介されているのか知りませんが、うちの子どもが結婚して初めて夫婦ともども帰省した折、やたらツル見物をせがむのです。繰り返しますが、私がツルに興味を抱くはずはありません。やれやれ、子どもたちのせっかくのリクエストだからしょうがない、連れていってやるかくらいの気持ちでした。そう、実際にツル観察センターに足を運ぶまでは……。

◆

……ツルの群れを見渡した瞬間、まずその迫力に圧倒されました。まさに大群です。自宅近くでエサをついばんでいるツルとは別格でした。さらにじっくり観察すると、一口にツルといっても、実はいろんな種類がいることに気づきます。案内板によれば、ここには七種類ものツルが訪れているらしいのです。双眼鏡でレアもののツルを見つけるのは、宝探しのようで実に楽しい。加えて、低空飛行をしているその勇姿は見応えがあります。ゲストをしかたなく案内してきたつもりが、自分がすっかりツルに惚れ込んでしまいました。なるほど出水のツルは郷土の誇りだ、そう実感しました。

◆

振り返って見ると私たちは、ガイドブックで目にする外国の景観にはやたらと心引かれ、実際に見てみたいと切望します。人は、まだ見たことがないものや手が届きづらいものに対しては、強いあこがれを抱きます。それなのに、身近なものや見慣れているものに対しては、驚くほど無関心なのです。まともにその価値を顧みることもないままに。

人間は本来、身近にあるものの大切さに気づきにくい生き物なのでしょう。離れてみて初めてその価値に気づくことがよくあります。卒業生・修了生の皆さんのこれからの道のりはさまざまです。しかし、どこで生活しようとも、どれだけ歳を重ねようとも、皆さんにとって身近な存在の気高さを忘れないでください。家族や友人、ふるさと、そして何よりも自分自身、それらを愛おしみ尊ぶ心をもち続けてほしいのです。

◆

卒業生並びに修了生の皆さんが、身近なものの価値を認めつつ、充実した人生を送ることを心から祈っています。

異花同春 ～それぞれの春を生きて～



ＰＴＡ会長
加藤　光子　様

花が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業、修了、誠におめでとうございます。

三年前、満開の桜の下、不安と期待を胸に入学式を迎えた日のことが、つい昨日のことのように思い出されます。

保護者の皆様におかれましても、今日までお子さまを支えてこられた日々に、感慨ひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

さて、今年は「丙午（ひのえうま）」の年です。丙は太陽のような明るさと情熱を、午は前へ進む勢いを表すといわれています。行動することで道が開ける、力強い一年です。卒業という人生の節目を迎えた皆さんにとって、新たな一歩を踏み出すのにふさわしい年であると感じています。

ここで皆さんにお伝えしたい言葉があります。それは「異花同春（いかどうしゅん）」です。花はそれぞれ異なっていても、同じ春を生きる。姿や咲き方は違っても、同じ季節の中で、それぞれが自分の役割を果たしながら咲いていくという意味です。皆さんの高校生活は、まさに「異花同春」そのものでした。

学業に励んだ日々、部活動に打ち込んだ時間、学校行事での一体感。昼休み、カフェテリアで友人と並んで食事をしながら交わした何気ない会話や笑顔も、今となってはかけがえのない思い出の一つでしょう。

そうした日常の積み重ねが、皆さん一人ひとりの根となり、今の皆さんを形づくっています。そして、その日々を支えてくださったのが、先生方の存在です。一人ひとりに寄り添い、時に厳しく、時に温かく導いてくださいました。出水中央高校ならではの温かな指導があったからこそ、皆さんは安心して学び、自分らしく成長することができたのだと思います。

社会は今、大きな変化の中にあります。正解が一つではない時代だからこそ、迷うこともあるでしょう。そんな時こそ、自分の中にある「軸」を大切にしてください。周囲に流されそうになった時は、自分が何を大切にしたいのかに立ち返り、自分を信じて一歩を踏み出してほしいと思います。

これから先、壁にぶつかることがあっても、この学校で過ごした日々、先生方の言葉、支えてくれた家族や友人の存在を思い出してください。そして、いつでもここに戻ってきてください。

出水中央高等学校は、皆さんの原点として、これからも変わらず皆さんを温かく迎えてくれる場所です。

それぞれが異なる花であっても、同じ春を生き、自分だけの場所で花を咲かせていく。

皆さんの人生が、そんな豊かで実りある春に満ちたものとなることを心から願っています。

祝辞



同窓会長
山平　裕治　様

本日、この出水中央高等学校を旅立つ卒業生と修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。同窓会を代表しまして、一言挨拶をさせていただきます。

倉田理事長をはじめ、諸先生方、本日は子供たちのためにこのように立派な卒業式を執り行っていただき、心より感謝申し上げます。

今、子供たちは無事に今日という日を迎えられたことに大きな自信と誇りを感じながら、これまで先生方が力を尽くしてくださったことへの感謝を胸に、新しい道に進んでいく決意をしていることでしょう。

そして、私共同窓会としては、未来ある後輩たちが大人への階段をまた一つ上ったことへの喜びと、ここまで来られたことへの安堵を感じ、先生方への深い感謝を抱いております。

熱心な教育と慈愛に満ち溢れたご指導によって、子供たちの人間性を大きく伸ばしてくださる素晴らしい学校です。

校内活動のみに留まらず、校外での活動も活発で、スポーツ・文化に、また多くの皆様と関わることによる調和を、何よりも大切に位置付けた教育を一貫されております。

それによって子供たちは、理想的な人間像を獲得し、大きく羽ばたくことができます。正月に行われた箱根駅伝においても本校の卒業生が素晴らしい活躍を見せてくれました。日々の努力を重ね感動に導いた瞬間だったと思います。

在学中に重ねた様々な経験「喜びや達成感を味わい」「傷つき、苦悩し、挫折を乗り越え」わが後輩たちは、こんなにも大きく成長しました。掛値のない学校生活を送ることができましたのも、生徒一人一人に親身になって寄り添い、決してあきらめることはなく、励まし続けてくださった先生方のおかげであり、ただただ感謝するばかりです。

卒業生・修了生の活躍と出水中央高等学校のますますのご指導を祈念申し上げ、同窓会を代表してのご挨拶とさせていただきます。

紫尾嶺

高校生のとき、私はサッカーを通して自分の力を試したいという思いから、南米アルゼンチンへ渡り、三年間を現地で過ごした。言葉も文化も大きく異なる環境での生活は、期待と同時に戸惑いの連続だった。スペイン語が分からず、練習の指示を理解できないまま動いたり、自分の考えをうまく伝えられずに悔しい思いをしたりすることも多かった。また、日本人であるという理由で心ない言葉をかけられ、考えさせられる場面に直面することもあった▼それでも、日々の生活や練習を積み重ねる中で、少しずつ周囲との距離は縮まっていった。言葉が十分に通じなくても、真剣にプレーする姿勢や仲間を思いやる行動は伝わることを実感した。サッカーを通して生まれたつながりは、国籍や文化の違いを越え、互いを認め合う関係へと変わっていった。自分にとって当たり前だった考え方が、世界では必ずしも当たり前ではないと知ったことは、大きな学びとなった▼進路を考えるとき、答えが一つに決まっているわけではない。新しい環境に身を置くことで、これまで気づかなかった自分の一面や可能性に出会うことがある。アルゼンチンでの三年間は、私の視野を広げ、人との向き合い方を見つめ直す時間となった。自分がやってみたいと思う気持ちを大切にし、行動を重ねていくことで、進む道は少しずつ形になっていくと感じている。

（森　爽一）

令和７年度　出水中央高等学校生徒会スローガン『獅子搏兎 ～どんな一歩も全力で～』



生徒会長
本田 絆叶

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

出水中央高校で過ごした日々は、皆さんにとってどのような時間だったでしょうか？

笑いあった日、悔しさに涙した日、不安を抱えながらも前に進んだ日…。その一つ一つが、かけがえのない思い出として心に刻まれていることと思います。仲間とともに艱難辛苦を乗り越えた三年間は、これから先の人生で迷ったとき、苦しいとき、きっと皆さんの背中を押してくれる大切な力になるはずです。私たち在校生にとって、先輩方は憧れであり、目標であり、進むべき道を照らしてくれる存在でした。努力を重ね、最後まで諦めずに挑み続ける先輩方の姿は、私たちの心を強く揺さぶり、「自分も前へ進もう」と思わせてくれました。その姿は、これからも私たちの胸の中で生き続けます。

これから先輩方は、それぞれの夢に向かって新たな一歩を踏み出します。決して簡単な道ではなく、時には立ち止まり、つまずくこともあるでしょう。それでも諦めずに歩み続ける限り、道は必ず未来へとつながっています。もし人生の中で迷いや苦しみに出会ったときは、まず自分自身を信じてください。そして、そばにいる人の存在を信じてください。支えあう心があれば、乗り越えられない壁はありません。

私たち在校生一同、先輩方のこれからの歩みを心から応援しています。先輩方の未来が、希望に満ち、笑顔あふれるものとなることを、心より願っています。

就職・進学・国家試験等概況

就職試験

今年度の就職試験は、例年どおり九月十六日からの解禁となりました。各々がそれぞれ希望する事業所を受験し、内定をいただいています。求人開始となった七月一日以降、二月五日現在までに約二五〇〇件（昨年度より約六〇〇件増）と、昨年度に引き続き、過去最高の求人をいただいています。生徒は夏休み期間中も登校し、履歴書作成や一般常識・作文・ＳＰＩ対策などに必死に取り組み、加えて多くの先生方に協力をいただき、緊張感を持って本番に臨みました。四月から新天地での活躍を期待しています。

専修学校（各種学校を含む）

専修学校を選択する生徒は就職に直結する資格や技能の習得を目指しています。選択にあたって国家試験等の合格率や先輩たちの就職先などに注目しています。公務員、教育、医療（看護、救急救命、診療情報管理等）、ファッション、ホテルビジネス、自動車などの合計で、一一三名の進学が決まっています。

大学入学共通テスト

一月十七・十八日の二日間にわたって、令和八年度大学入学共通テストが実施されました。本校からは、特進課程三十五名と教養課程六名の計四十一名が薩摩川内市の鹿児島純心大学で受験しました。文理ともに朝から夕まで長時間の試験でしたが、今年度は穏やかな気候のもとで、受験生は皆無事に日程を終えることができました。各大学の個別入学試験は、私立大学が一月下旬から、国公立大学は前期日程が二月二十五日に始まり、後期日程の三月十二日まで続きます。受験生それぞれの健闘を祈ります。

第三十八回 介護福祉士国家試験

一月二十五日(日)、医療福祉科三年生八名は、鹿児島医療福祉専門学校で実施された第三十八回介護福祉士国家試験を受験しました。入学してから約三年。介護福祉士資格取得を医療福祉科での大きな目標として、学習に実習に取り組んできました。特に十二月ごろからは、クラス全体で協力して受験対策に取り組みました。

そして受験当日、冷え込んだもののよく晴れた天候の中、それぞれの会場へ向かいました。同一施設内ではあるものの、バラバラの会場に振り分けられた生徒たちには、不安の様子もありましたが、実力を発揮できるよう祈りながら送り出しました。

受験終了後には口々に疲れたと言いながらもほっとしたような様子もみられ、それぞれに持てる力を発揮してくれたのではないかと思います。

合格発表は、三月十六日(月)十四時からです。卒業後の発表になるので、合格の喜びを共有することはできませんが、全員の合格を祈りながら発表を待ちたいと思います。

准看護師試験

二月十日(火)、看護学科専門課程二年生は、鹿児島市の鹿児島国際交流センターで実施された鹿児島県准看護師試験を受験しました。他校の受験生と一緒に、十三時三十分から十六時までの二時間半を落ち着いた態度で試験に臨みました。

合格発表は三月十三日(金)の十時からです。学ばせていただいた多くの方々の支えに、「全員合格」でお返しできることを期待します。

第一一五回 看護師国家試験

看護学科専門課程二年生は、二月十五日(日)、福岡県の福岡大学で看護師国家試験を受験しました。九州各県から受験生が多数の受験会場に会し、緊張感漂う中での受験でした。

生徒達は学習に励んだ自分自身を信じて、五時間十五分の国家試験に臨みました。受験後に見せてくれたその笑顔に、五年間で得ることのできた多くの学びを十分発揮できたのではないかと感じました。

合格発表は三月二十四日(火)十四時からです。医療技術の発達とともに、看護職に対する人々の期待は大きいだけに、受験生全員が合格することを願っています。

第四十八回 戴灯式 ～白衣の天使の誕生～



十一月八日(土)に第四十八回戴灯式が挙行されました。看護学科基礎課程二年生五十七名が、真新しいナースキャップを頭につけ、少し緊張した面持ちで式に参列しました。戴灯式は、看護師になる第一歩として初心に立ち戻り、看護師という職業に対する志や人の命にかかわる責任感を再認識し、ナイチンゲール像から灯りを受け取り、決意を新たにする儀式です。厳かな雰囲気の中、呼名とキャンドルを戴き、清らかに輝いた白衣の天使が誕生しました。そして、ナイチンゲールが灯した看護の心を燃やし続けようと、キャンドルをかかげ、四十八回生全員で「誓いの言葉」を唱えました。「私たち四十八回生五十七名は、仲間と支え合い、先生方や実習先の指導者の方々に導かれながら、一歩一歩、看護の心と力を身につけてきました。時に困難なこともありましたが、何よりも常に温かく見守ってくれた家族の存在が、私たちの大きな支えとなりました。不安な時も、励まし、信じてくれたことに感謝します。四十八回生全員で何事にも真剣に取り組み、仲間と共に学び、悩み、笑顔を忘れず、成長していきます。私たちは命と向き合う責任を自覚するとともに、思いやりと誠実な心をもって寄り添う看護を実践し、全ての方々への感謝を胸に、看護の道に進むことをここに誓います。」全員で唱えた誓いの言葉に、会場も感動に包まれました。この誓いの言葉を胸に、看護師への道を力強く歩み続けてほしいものです。

生徒会 台湾派遣

十一月十九日(水)～二十二日(土)、本校生徒会の代表三名と職員三名が、台湾を訪問しました。初めて台湾を訪れる生徒や職員が大半であり、聞こえる人々の声・見える風景・台湾の味など文化の違いに圧倒され続ける四日間でした。

特に二十一日(金)は、最大の目的地である國立暨南國際大學附屬高級中學へ訪問し、非常に盛大な歓迎を受けました。この学校は、出水市と姉妹都市である埔里鎮にあり、昨年度は本校に約三十名の生徒が訪問をしてくれた学校です。今回の訪問では、英語の授業体験・射撃の授業体験・綱引き大会等に参加させていただきました。特に射撃体験では、日本ではなかなか経験できないような内容に、生徒・職員全員が興奮の連続でした。最初から最後まで、高級中學の生徒や職員が手厚くおもてなしをしてくれるその姿に、私たちも感動させられた体験でした。



この四日間を通じて、台湾の人々の「人の温かさ」を非常に強く感じました。日本とは異なる文化を肌で感じ、そこに人の温かさが加わることで、今まで以上に「寛容さ」を得られたように思います。また、訪問中に魅力的に見えた台湾であっても、帰国した際には「安心感」を得たようにも感じました。外を知ることで、普段我々が何気なく過ごしている日本の良さにも気付かされたようです。

令和八年度は、高級中學の生徒および職員が再び本校へ訪問する予定になっています。まだ計画段階ではありますが、皆様にもご協力をお願いすることもあるかもしれません。そのときはよろしくお願いいたします。



海外研修旅行

看護学科専門課程一年生は十二月十四日(日)から十八日(木)まで四泊五日で台湾へ海外研修旅行に行ってきました。

今回の海外研修旅行は、今年度文部科学省「令和七年度高等学校ＤＸ加速化推進事業（ＤＸハイスクール事業）」の「重点類型グローバル型」に採択された事業の一つとして、今年五月に学術交流協定を結んだ台湾の馬偕医護管理専科学校と馬偕記念病院に訪問しました。馬偕医護管理専科学校では看護科の生徒との交流として、スマートウオッチを活用した患者情報の把握方法やＯＳＣＥ（客観的臨床能力試験）を実施する実習室の見学を行いました。病室に見立てた実習室が複数あり、カメラや電子黒板などで演習や実習している生徒の様子をモニターで確認できることに生徒は驚いていました。



また、スマート医療科の施設を見学しました。生徒間での話し合いに活用できる会議室や実際のスマート医療に関わるベッドや体重計と血圧計が連動しているシステムやクラウド型ロボットが設備されていました。

四日目には台湾を代表する医療機関の一つである馬偕紀念医院を訪問しました。病院到着後は温かい歓迎を受け、講義室にて病院の概要や組織体制についての説明を受けました。

国や医療制度は異なるものの、『人に看護を提供する』という点において、日本と多くの共通点があることを改めて実感する貴重な機会となりました。





令和７年度 ボランティア活動

・７～８月▶サマーボランティア（児童クラブ体験･保育体験）…10名
・10月▶赤い羽根共同募金 街頭募金活動 …… ７名
・11月▶出水市青年の家 秋祭り …… ７名
・年間▶アイシティＥＣＯプロジェクト
　コンタクトレンズ空ケース回収活動 …… 全校生徒
　エコキャップ回収活動 …… 52,320個

今年度も、生徒会や有志による校内外での活動を展開することができました。協力を惜しまずに参加してくれた生徒たちは、明確な目的意識を持って、スタッフの一員として奉仕活動に積極的に従事していました。

イベントに訪れてくださった市民の方々に笑顔で接し、懸命に交流を図ろうとする姿には、頼もしさを感じました。

ボランティア活動を通して得た経験は、将来就く職業においてもきっと役に立つと思いました。

募集は基本、校内連絡網のブレンドで受け付けています。来年度はより多くの生徒たちが、学校代表としてだけではなく、自分を育て見守ってくれた地域の住民の一人としても、自発的に参加してくれることを願っています。

生徒会方針

生徒会長 普通科特進課程二年
本田 絆叶



生徒会執行部は、本校の校訓である『協調』・『規律』・『勤労』を軸に活動しています。

私たちは学校行事の企画・運営や日々の学園生活の充実を通して、皆さんの理想を形にすることを目標に取り組んでいます。今年度は、これまでの生徒会活動や取り組みを振り返り、改善と発展につなげていくことを重点目標としています。本校をより良い学校にしていくためには、生徒の皆さんの意見や協力が欠かせません。教職員の先生方、生徒会、そして皆さんが互いに協力し合うことで、本校の魅力をさらに高めていけると考えています。学校行事や学校生活について、新しいアイディアや意見がありましたら、ぜひ気軽に生徒会までお知らせください。生徒一人一人が主体となって学校を創っていけるよう、執行部一同全力で取り組んでまいります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

◆生徒会役員就任◆

昨年の９月26日(金)本校体育館にて本年度の生徒会役員改選が行われました。生徒会の活性化を目指し，立候補者がそれぞれの思いを熱心に演説しました。投票と話し合いの結果で選ばれた会長・副会長によって執行委員が指名され，以下のように決定しました。執行部を中心に生徒全員が一致団結し，さまざまな活動に取り組んでいきます！

◎生徒会長	本田 絆叶	特進課程二年
副会長	野村 恵叶	特進課程二年
副会長	福浦 百夏	特進課程一年
監査	尾崎 蘭	特進課程一年
書記	藤山 桜咲	普通課程一年
書記	宮園みそら	医療福祉科一年
○体育部長	京田 咲	特進課程二年
副部長	竹ノ下 迅	医療福祉科二年
○文化部長	下山 心夏	看護学科二年
副部長	中拾石光彩	教養課程二年
○厚生部長	松永 佳樹	特進課程二年
副部長	緒方 梨音	看護学科一年
○生活部長	平野 優姫	看護学科二年
副部長	井原 陽菜	教養課程一年
副部長	濵邊 捺美	特進課程一年

卒業生・修了生の皆さんへ

普通科普通課程一組
担任　片山　涼

「空　気」

タレントやメディアを通じて多用されるうちに、一般社会へと深く浸透していく言葉があります。「空気を読む」という表現も、その代表例のひとつです。意味や用法については、高校生であれば十分に理解していると思います。

私の好きな映画の作中に、いじめについて描かれたワンシーンがあります。そこでは「いじめの原因は特定の誰かではなく、その場を支配する空気だ」という印象的な言葉が語られていました。誰もが心のどこかで違和感を覚えながらも「みんながそうしているから」「空気を乱したくないから」という理由で声を上げることができず、結果として誰かを深く傷つけてしまう。その構造こそが、いじめの正体であると示す場面でした。

相手を思いやり、場を和ませるために空気を読む力は必要です。しかし同時に、その空気が本当に正しいのか、誰かを苦しめていないのかを考える視点も欠かせません。

これから皆さんは、それぞれ新しい場所へ進みます。そこには、これまでとは違う価値観や、新しい空気が待っています。理不尽さを感じたり、周囲に流されそうになることもあるはずです。そんな時、どのような行動を選択しますか？　そんな時こそ、ただ空気に従うのではなく、「この空気は正しいのか？」と立ち止まって考えてください。そして必要であれば、勇気をもって空気を変える側に立ってください。

心の強さを備え、誰かの尊厳を守れる人こそ、本当に空気が読める人だと私は思います。皆さん一人一人が、より良い空気をつくる存在になり、立派な社会人として活躍することを願っています。

ご卒業おめでとうございます。



普通科普通課程二組
担任　下野　梨沙

「泣いて　笑って　笑って」

卒業生の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。

今日という日をどんな気持ちで迎えていますか？この教室で過ごした時間は、長いようであっという間だったかもしれませんね。

まず皆さんに伝えたいのは日頃から言っていた感謝の気持ちを忘れないことの大切さです。今日まで支えてくれた家族、切磋琢磨した友人、そして見守ってくれた先生方。今の自分があるのは、決して自分一人の力ではありません。感謝の気持ちを言葉にできる人は、誰からも信頼され、愛されます。新しい道に進んでも、その心を大切に持ち続けてください。

Ｇ３はいつも明るく元気な笑い声が絶えませんでした。行事に全力で取り組み、休み時間には賑やかにおしゃべりをする。その真っ直ぐなエネルギーは私の力になっていました。たとえ進む道が分かれても、ここで育んだ「周りを明るくする力」は、皆さんの大きな武器になるはずです。

私の家の家訓に「泣いて　笑って　笑って」という言葉があります。人生には、思い切り泣きたくなるような悔しい日もあるでしょう。でもその次はしっかり前を向いて笑ってください。そして最後には、もう一度最高な笑顔で笑えるまで進み続けてほしい、悲しみの倍、笑えるような人生であってほしいと願っています。

皆さんの未来が、希望と笑顔に満ち溢れたものになることを心から応援しています。胸を張って、新しい世界へ羽ばたいてください。また会いましょう!!



普通科教養課程
担任　米森　逸平

「ぼちぼちいこか」

ご卒業おめでとうございます。

私にとって、教職生活初めての担任としての場所が、この出水中央高等学校の「Ｌ３」というクラスであったこと、そして四十三名の皆さんと出会えたことは、何にも代えがたい幸運でした。

皆さんと過ごしたのは、卒業までのわずか一年間という短い時間でした。初めての担任ということで、至らない点も多く、時には戸惑いや不安を感じさせたこともあったかもしれません。それでも、皆さんは真っ直ぐに私と向き合い、今日までついてきてくれました。皆さんに支えられ、共に歩んだこの一年は、私にとって一生忘れることのできない宝物です。私を「担任」にしてくれて、本当にありがとう。この一年間、体育祭や文化祭といった大きな行事で見せてくれた、皆さんの凄まじいエネルギーは今も目に焼き付いています。クラス全員が一つになり、全力で楽しみ、全力でぶつかっていく。その逞しい姿を見守る中で、私は皆さんの成長を肌で感じ、一人の人間として、多くの勇気をもらっていました。

春からは、大学、短大、専修学校、そして社会へと、四十三名がそれぞれの「新しい道」へと歩みを進めます。環境は大きく変わりますが、この教養課程で過ごした濃密な時間は、皆さんの確かな糧となっているはずです。ふとした時に、仲間と笑い合ったこの教室の空気を思い出してみてください。

これからの人生、楽しいことばかりではなく、時には出口の見えないような辛い壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時、心に留めておいてほしいのが「ぼちぼちいこか」という言葉です。人生、死に物狂いで踏ん張らなければならない瞬間もあります。でも、もし心が悲鳴を上げたなら、立ち止まってもいい、逃げてもいいんです。なんとかなることも、世の中には意外とたくさんあります。自分を追い詰めすぎず、自分のペースを大切に歩んでいってください。

皆さんの歩む未来が、どうか光に満ちた、幸せなものでありますように。Ｌ３の皆さん、本当にありがとう。これからの人生に幸あれ！



普通科特進課程一組
担任　川口　大輝

「ふざけた生活はつづく」

時代や地域により程度の差はあるものの、世界が全面的に平和な安住の地だったことなど人類史上一度たりともないわけですが、それにしても、昨今の世界情勢は言葉を失うほど残酷非道ですね。この現状と完全に無関係ではない大人のひとりとしては、もう少しマシな世界にできていないことに関して、みなさんに少し申し訳ない気持ちはあります。みなさんの親も、そして教員も、ごく普通の平凡な大人であり、言うまでもなく完璧な存在ではありません。してあげたかったけどできなかったこともいろいろあります。それでも、手の届く範囲だけでも、みなさんがなるべく辛い思いをすることなく、熱心に遊んだり学んだりしながら健やかに成長してくれますように、という祈りにも似た思いを込めて、悩んだり喜んだり時に悔やんだりしながら、今日までわれわれ大人はみなさんの教育に取り組んできました。われわれにとっても、卒業生のみなさんにとっても、今日はひとつの区切りです。

卒業おめでとうございます。

さて、みなさんも、早い人はこの四月から、遅い人でも数年後には、なんとそんな大人の仲間入りです。ようこそ世界へ。これまで過ごしてきた学校は、みなさんへの配慮がそれなりに行き届いた人工的な箱庭です。残念ながらその試みが失敗に終わることも多々ありますし、そもそも学校は、自由を抑圧して社会的な規律を内面化させるための一種の支配の場ではあるのですが、少なくとも配慮が行き届いた場所であるようにという努力の上に成立している空間ではあります。ですが、この先みなさんが飛び込んでいくのは、そういう配慮や努力が必ずしも存在しない世界です。大学やまともな企業にはまだ最低限の配慮はありますが、そうではない世界を見ることも多くなると思います。

そして、そんな不完全な世界を、少しでいいから改善していくことこそが、卒業生のみなさんを含む、われわれ大人がやるべきことだと私は思っています。そのために特別な政治運動をする必要はありません（もちろん必要だと思うときはどんどんしましょう）。自分の選んだ道の先にある、日々の仕事や生活の中で、物事が少しでも良い方へ向かうように取り組みましょう。その積み重ねこそが世界を変えていくのです。人生にはそういう楽しさもあります。われわれの九十九％は天才ではなく凡人で、世界を劇的に変えることなどできないのですが、凡人であることをちゃんと受け入れて、選んだ道でがんばっていきましょう。高校生活を描いたよしながふみの漫画『フラワー・オブ・ライフ』において、マンガ家を志望する高校生の翔太は、十年に一度の天才に負けて念願のプロデビューが叶わず落ち込みますが、やがて立ち直りこう言います。「十年に一度の天才じゃなくたっていいじゃないか！残りの九年間もマンガ家になる人はたくさんいて、僕らはその中に入ればいいじゃないか！だって僕は天才になりたいんじゃない、マンガ家になりたいんだ！」

みなさんがそれぞれの道に進んで、時に悩みながらも楽しく充実した人生を送れますように。



普通科特進課程二組
担任　開田　丈寛

「ねだるな、勝ち取れ、さすれば与えられん」

昔見た好きなアニメの中で、今でも心に残り、自分の指針の一つとなっている言葉である。意味は言葉の通りだと思うが、その意味以上に人生に重みを付け加える、味わい深い言葉だと感じている。

特進課程三年二組の皆さん、卒業おめでとう。それぞれが、自分の未来に向けて、考え、悩み、努力し、積み重ねてきた一年間だったと思う。その過程で経験したこと、苦悩したこと、楽しんだことは、今後の人生において大きな糧となるだろう。無駄になることはない。各自の中で大切にしていってほしい。

二年間、担任として君たちの学年と関わってきて感じたのは、「素直」である。相手の話をしっかりと聞き、それに応えるような行動を見せたことが多かったように思う。時には、自分に素直になって考え、行動するものもいた。それもまた、その個人なりの生き方なのだと捉えたり、感心したりすることもあった。それぞれの個性が大切にされており、いい雰囲気を出せていたと感じる。多様な社会になってきたからこそ、その「素直」なところを忘れず、自分の芯を大切にしていってほしい。「自分」があってこその多様性である。そのことを念頭に置くように。

さて、これから皆さんは「大学」や「専修学校」といった新しい場所での学びを始めることとなる。そこでは、これまでの「学校」とはまた違った、専門性が高まった講義や実習が行われることだろう。新しい出会いや発見に心躍らせ、感動することもあるだろう。一方、戸惑いもあるかもしれない。そんな時、改めて自分に問い直してほしい。「なぜ、自分がこの道を選んだのか？」と。様々な想いの中、自分で決めた道だ。何かしらの重要な思いがあるはずだ。それを忘れず、最後まで諦めずに学び抜いてほしい。どこかのYouTuberが似たようなことを言っているが、「人生は一生勉強」だ。いろんなことを学び、未来の自分に繋げていってほしい。

人生とは、物理の法則のように、完全にルールに則った動きはしない。波乱万丈を楽しもう。



医療福祉科
担任　金城　善友

「夢　道」

卒業おめでとうございます。

医療福祉科三年生の担任をさせていただき、介護福祉士国家試験を受験する学年ということもあり、生徒の皆さんと共に緊張しながら過ごした一年間でした。五、六月には介護実習があり、実習が終わるとすぐに期末考査と、忙しい一学期でした。その後は模試が本格的に始まり、自分自身の知識の現状を知り、苦手科目を把握することで、危機感とともに学習意欲が高まっていく姿が印象的でした。学級目標である「夢道～今を変えなければ、未来は変わらない～」は、全員で話し合って決め、一人一人に具体的な目標も書いてもらいました。その目標に向かって日々努力する皆さんの姿は、とても輝いて見えました。国家試験前日は緊張から表情も硬くなっていましたが、全日程が終わり、受験会場の入口で迎えたときに「精一杯出し切った」と話してくれたことを、今でもよく覚えています。私自身も、皆さんと共にほっとした瞬間でした。四月からは新しい環境で、楽しいことだけでなく、不安や悩みも出てくると思います。そんな時は一人で抱え込まず、周りの人を頼りながら、さまざまな壁を乗り越えていってください。気が向いた時には、ぜひ学校にも顔を出して、近況を聞かせてください。

皆さんがこれからの人生において、さらに大きく成長していくことを心から願っています。



看護学科基礎課程一組
担任　荒木　季里

「笑　顔」

四十七回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。明るく元気なみなさんと過ごしたこの一年は、本当にあっという間で楽しい時間でした。体育祭や文化祭、クラスマッチなど何事にも全力で取り組み楽しんでいましたね。クラスの目標である「笑顔」がいつも溢れていました。しかし、そんな中でも臨地実習や国家試験対策など楽しいことだけでなく悩むことや辛いこともあったと思います。それでも一人一人が持ち前の明るさと笑顔で自分なりに考え、みんなで協力し乗り越えてきました。四月から皆さんは専門課程に進学し、より高度な専門性を身に付けていかなければなりません。これからは苦しいことや辛いことも多くあるかもしれませんが、皆さんには同じ夢を持つ仲間やそばで見守ってくれる人たちがいます。支えてくださる方々に感謝の気持ちを忘れずに、これからも四十七回生らしく素敵な笑顔を大切にして今後の看護学生生活を過ごしてください。みなさんの夢が実現できるようにいつも応援しています。



看護学科基礎課程二組
担任　馬場　大輔

「夢に近づく」

四十七回生の皆さんご卒業おめでとうございます。

この三年間を振り返るとたくさんの思い出が出てくることでしょう。楽しい思い出や苦しい思い出、どれをとっても大切なあなただけの思い出です。私が特に思い出すのは皆さんの笑顔です。楽しいことや面白いことに全力で取り組み、全力で笑顔になり、一致団結することができるのがあなたたちの強みです。さあ、その強みをもう少し勉強に向けてみましょう。看護師国家試験までもう二年を切りました。言いかえれば、皆さんの夢が叶う瞬間まで後二年を切っています。絶対合格はないけれど合格に近づくことはできます。基礎課程で協力し乗り越えてきました。四月から皆さんは専門課程に進学し、より高度な専門性を身に付けていかなければなりません。これからは苦しいことや辛いことも多くあるかもしれませんが、皆さんには同じ夢を持つ仲間やそばで見守ってくれる人たちがいます。支えてくださる方々に感謝の気持ちを忘れずに、これからも四十七回生らしく素敵な笑顔を大切にして今後の看護学生生活を過ごしてください。みなさんの夢が実現できるようにいつも応援しています。



普通科特進課程二組
担任　開田　丈寛

「ねだるな、勝ち取れ、さすれば与えられん」

昔見た好きなアニメの中で、今でも心に残り、自分の指針の一つとなっている言葉である。意味は言葉の通りだと思うが、その意味以上に人生に重みを付け加える、味わい深い言葉だと感じている。

特進課程三年二組の皆さん、卒業おめでとう。それぞれが、自分の未来に向けて、考え、悩み、努力し、積み重ねてきた一年間だったと思う。その過程で経験したこと、苦悩したこと、楽しんだことは、今後の人生において大きな糧となるだろう。無駄になることはない。各自の中で大切にしていってほしい。

二年間、担任として君たちの学年と関わってきて感じたのは、「素直」である。相手の話をしっかりと聞き、それに応えるような行動を見せたことが多かったように思う。時には、自分に素直になって考え、行動するものもいた。それもまた、その個人なりの生き方なのだと捉えたり、感心したりすることもあった。それぞれの個性が大切にされており、いい雰囲気を出せていたと感じる。多様な社会になってきたからこそ、その「素直」なところを忘れず、自分の芯を大切にしていってほしい。「自分」があってこその多様性である。そのことを念頭に置くように。

さて、これから皆さんは「大学」や「専修学校」といった新しい場所での学びを始めることとなる。そこでは、これまでの「学校」とはまた違った、専門性が高まった講義や実習が行われることだろう。新しい出会いや発見に心躍らせ、感動することもあるだろう。一方、戸惑いもあるかもしれない。そんな時、改めて自分に問い直してほしい。「なぜ、自分がこの道を選んだのか？」と。様々な想いの中、自分で決めた道だ。何かしらの重要な思いがあるはずだ。それを忘れず、最後まで諦めずに学び抜いてほしい。どこかのYouTuberが似たようなことを言っているが、「人生は一生勉強」だ。いろんなことを学び、未来の自分に繋げていってほしい。

人生とは、物理の法則のように、完全にルールに則った動きはしない。波乱万丈を楽しもう。



看護学科専門課程一組
担任　中野　圭一郎

「感　謝」

修了おめでとうございます。

五年間の長い間、皆さんよく頑張ってきましたね。

振り返ると、三年前の春に「新しい目でこの子達を見てみてください」と言われ、基礎課程三年の担任になりました。それまで関わりのなかった学年だったので楽しみ半分、不安も半分でしたが・・まぁ大変な学年でした(笑)。ですので、昨年四月、専門課程二年一組の担任となり、皆さんの成長が嬉しかったのを覚えています(まだまだの生徒もいましたが笑)。専門課程二年では、大変な臨地実習を乗り越え、学習に一生懸命に励み、そして最後の壁(国試)を乗り越えました。この一年間、そして長い道のりの五年間、本当にお疲れ様でした。最終学年の担任として、大事な時期にあまり力となれなかったことは、本当に申し訳なく思っています・ごめんな。

四月からは看護師として、病める患者さんの前に立ちます。もう学生ではなく、看護師資格を持つプロとして。どんなに自分が辛くても、苦しくても、患者さんの前ではプロとして立ち続けなければなりません。そこに甘えは許されず・・です。でも、皆さんならできます。これまで培った知識と技術、自信を力にして。その姿勢と頑張りが病める患者を救い、そして自分の評価にも繋がっていくのです。

最後に高校、専門課程での沢山の思い出をありがとう。高校三年の時に、「色々あったけど、最後(修了式)はいい子達でしたねと思われるような生徒になってほしい」とお願いしましたね。今、その気持ちでいっぱいなのですよ。皆さんに出会えた事に感謝し、これからの飛躍に期待し・・これからもずっと応援してますね。

看護学科専門課程二組
担任　濱田　亜耶

「祝　福」

みんなが入学してきた二〇二一年は、まだコロナ禍の真っ只の中でこの先の医療もどうなっていくのか方向性がはっきりせず混沌としていた時でしたね。中学生ながらに看護師を志すことができたこと。そしてその夢を後押ししてくださったご家族の方々には敬服いたします。この五年で学業以外にも多くのことを学び経験しましたね。なかには辛いこともあったと思いますが、この時の経験がみんなの成長にとっていい経験になったと数年後笑って話せる時がくると思います。四月からは看護師としての道を歩むことになります。上手くいっている時、立ち止まりたくなった時、逃げ出したくなった時、どんな辛い時もずっと応燕(応援)しています。



卒修クラスの副担任

普通科普通課程
一組　髙橋　綾子
二組　池袋　之弘

普通科教養課程
前田　壮一

普通科特進課程
一組　河野　道昭
二組　中村　暢志

医療福祉科
荒木　淳・上山　茂

看護学科基礎課程
一組　青木　和義
　　豊田　翔凪
二組　川口　美希

看護学科専門課程
一組　蘭川さとみ
二組　筒井　宏子

令和７年度 受賞者

本年度の卒業生及び修了生に対する各賞は次のように決定しました。
受賞された皆さん、おめでとうございます。

◎**学校賞**
宮ヶ原莉子（普通科普通課程）
松山みこと（普通科教養課程）
荒木恒太郎（普通科特進課程）
鬼束　美緒（医療福祉科）
桑園せいか（看護学科基礎課程）
久保　愛弥（看護学科専門課程）

◎**知事賞**
松山みこと（普通科教養課程）

◎**日本私立中学高等学校連合会賞**
河野　秀誠（普通科教養課程）

◎**産業教育振興中央会賞**
山下　桜実（医療福祉科）
石田結樹子（看護学科基礎課程）
山内　璃音（看護学科専門課程）

◎**県産業教育振興会賞**
石本ひなの（医療福祉科）
櫻井　花音（看護学科基礎課程）
鳥羽瀬美優（看護学科専門課程）

◎**全国看護高等学校長協会賞**
茂田　愛梨（看護学科専門課程）

◎**全国福祉高等学校長会理事長賞**
溝内　心々（医療福祉科）

◎**岩崎賞**
久林怜央奈（普通科特進課程）

◎**皆勤賞**
出口　心汰　宮ヶ原莉子（普通科普通課程）
竹山　寛悠　柿本　碧生（普通科教養課程）
山下　凜（普通科特進課程）
川中美梨亜　木吉　花菜　櫻井　花音（看護学科基礎課程）
久保　愛弥　山崎　奏芽　野中　美羽（看護学科専門課程）

◎**特別皆勤賞**
山口　央　櫻井　乙羽（看護学科専門課程）

◎**精勤賞**
野入　泰翔　西　涼太（普通科普通課程）
沖津　春花（看護学科専門課程）

◎**特別賞（学業・生徒会活動・部活動等）**
学業　太田　侑杜　川内　心遥　高木　修斗（普通科普通課程）
牧内　らな　緒方　虹花　堀切　優衣（普通科特進課程）
柔道部　梅木　優花　西田　りん　犬童　心音（普通科普通課程）
和太鼓部　若松　寛一　田良島　魁（普通科普通課程）
放送部　野畑　実沙（普通科普通課程）
地域リーダー同好会　山下　凜　佐村　羽菜　堀切　優衣（普通科特進課程）
卓球部　梅木　優花　西田　りん　犬童　心音（普通科普通課程）
吹奏楽部　下薗　蓮　松下　結奈　川畑　陽菜　宮ヶ原莉子　山田　碧斗　阿万和果奈　築地　佐江　濱田　和華（普通科普通課程）
生徒会　又吉　南海（看護学科基礎課程）
水泳部　井川寛太朗（普通科特進課程）
吹奏楽部　下薗　蓮　松下　結奈　川畑　陽菜　宮ヶ原莉子　鍬野珠璃亜　森永　元　山田　碧斗　阿万和果奈　築地　佐江　濱田　和華　松木　朋香（普通科教養課程）
生徒会　又吉　南海（看護学科基礎課程）

吹奏楽部　コンサートツアー二〇二五

今年度吹奏楽部の定期演奏会は十一／三（祝・月）宝山ホール、十一／十五（土）天草市民センター、十一／十六（日）牛深総合センター、十一／二十二（土）・十一／二十三（日）マルマエホール出水での「出水公演」二日間開催の四会場五公演を実施いたしました。特に出水公演では、満員御礼となり大盛況のうちに二〇二五年の演奏会の公演を終えることができました。

この時期の三年生は、進路決定の時期でもあり、演奏会以外にも各種イベント演奏など、限られた時間の中ではありましたが、お客様へ感動を与えられる演奏をするために、一生懸命、全員で頑張りました。

演奏会の開催にあたり、学園ご当局の絶大なご配慮と、職員の方々、保護者の皆様のご支援のお陰様です。心から深く感謝を申し上げます。

今後とも、本校吹奏楽部へご声援の程、よろしくお願いいたします。



吹奏楽部　第二十七回 全日本高等学校 吹奏楽大会 in 横浜

吹奏楽部は十一月九日(日)に横浜みなとみらい大ホールで行われた「第二十七回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜」に録音審査を通過して通算九回目の出場をいたしました。

今回は二年ぶりの出場で、しかも二日目の最終ブロックでの演奏という出演順でした。前後には全国大会常連校が並び、とても緊張した中での演奏となりましたが、日頃の練習の成果を発揮し、審査委員長の先生からは「熱演が光った。技術力の高い好演だった」という講評もいただき、連盟理事長賞と来年度全日本シード権獲得という栄誉に輝きました。これにより二〇二六年十一月に行われる大会出場も確定したところです。

この結果を糧に、今後も練習を頑張っていきたいと思います。これからも本校吹奏楽部へのご声援、よろしくお願いします。



卓球部　全九州高校新人選手権大会 四年連続出場！

第五十九回全九州高等学校新人卓球選手権大会が福岡市の照葉積水ハウスアリーナで開催され、卓球部が鹿児島県代表として出場しました。今回で四年連続の九州大会出場となり、部員たちは堂々と試合に臨みました。

女子学校対抗において、予選リーグおよび順位決定トーナメント計四試合を戦い、二勝二敗という結果でした。どの試合でも最後まであきらめないプレーを見せ、チーム全体で勝利をつかみ取ろうとする姿勢が光りました。

初めて九州大会の舞台に立つ部員も出場し、緊張感の中にも貴重な経験や刺激を得る良い機会となりました。上位大会のレベルを肌で感じたことが、今後の成長につながるはずです。

全国大会進出は叶いませんでしたが、今夏のインターハイ出場を目指して日々の練習に励みます。今後とも温かいご声援をよろしくお願いします。



柔道部　令和七年度 第二十九回 九州高等学校新人柔道大会

令和七年十一月十五日(土)
長崎県諫早市小野体育館

鹿児島県女子団体の代表校の一つとして、出場してまいりました。

結果は、佐賀工業と〇―三の完敗でした。このような大きな大会に出られたことを糧に今後も文武両道で頑張っていきたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。



野球部　九州大会に出場して

野球部は第一五七回九州地区高等学校野球大会に出場することができました。九州大会には十九季ぶり五回目の出場で、実に十五年ぶりであり、「春のセンバツ」と呼ばれる選抜高等学校野球大会の選考に重要となる秋の九州大会は三十七年ぶりの出場でした。

この九州大会の出場権を争う鹿児島県予選は、苦しい試合の連続でした。一回戦から準決勝まですべて苦しい試合をものにしました。特に、準決勝の徳之島高校との試合では、最終回に逆転され絶体絶命のピンチでしたが、その裏に追いつき逆転し、サヨナラ勝ちを収めることができました。どの試合も諦めず、粘り強く野球をすることができました。決勝戦では神村学園に大敗し、準優勝で九州大会に挑みました。

九州大会は宮崎代表の小林西高校と対戦し一―二で敗戦しました。先制しましたが、後半に逆転を許し、追いつき逆転するチャンスを生かしきれず悔しい敗戦となりました。敗戦した二試合を通し、全国レベルにはまだまだ遠い現状を思い知らされました。今後練習し、更なる成長をしていくことでこの壁を超えたいと考えています。

終わりに、県大会や九州大会を通して、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の方々、学校・学園の教職員の皆様など数々の応援やご支援を賜りました。あらためて、御礼申し上げます。この経験を生かし、建学の精神である「和の精神」を体現する一体感のあるチームとなり甲子園初出場を狙います。有難うございました。

放送部　九州大会四年連続出場

放送部は昨年度の九州大会三年連続出場、全国大会への初出場の実績により、部活動の礎ができました。今年は再び初心に戻り、飛躍の一年になることを目標にしました。

●**NHK杯全国大会**
県予選（六月）
アナウンス部門　三名出場
朗読部門　三名出場
・結果
朗読部門　優良賞
高橋　真紀さん（特進二年）
（十二月沖縄大会への出場権）

●**令和七年度九州大会（沖縄大会）**
朗読部門　準決勝出場
高橋　真紀さん（特進二年）
結果は決勝に進出できませんでしたが、九州各県の選手たちの練習会場や舞台上での発表に学ぶことも多かったと思います。

放送部には校内での活動、大会出場の他に地域との連携活動も行っています。

今年は、

●**出水市主催音楽祭**
司会進行役（十二月）
右田彩夏さん（特進二年）
尾崎　蘭さん（特進一年）

●**出水市誕生二十周年記念式典**
司会進行役
尾崎　蘭さん（特進一年）
（式典は三月十三日）
マルマエホール）

部活動においては先生方や生徒のみなさんからの応援、エールをいつも感じています。今年もありがとうございました。

（文責：部長　松山）



地域リーダー同好会

令和七年九月十三日十四日の両日、広島県広島市において、六名のメンバーで全国少年消防クラブ交流大会に鹿児島県代表として出場してまいりました。

十三日には、平和学習を行い「いのち」について「平和」について深く学べたと思います。十四日の競技大会ですが、二種目の競技に出場。精一杯頑張りましたが、他の消防クラブの皆さんの動きに圧倒されました。

ただ、挨拶や礼儀に関しては、日本一だったと自負しています。今後これらの経験をもとに、地域のためにできることを消防署や市役所と連携をしながら活動していきたいと思います。



令和７年度 部活動大会報告

野　球　部

●**令和７年度秋季北薩地区高等学校野球大会(8/21～26)**
1回戦　本校 7－0 川内商工（7回コールドゲーム）
準決勝　本校 5－3 れいめい
決　勝　本校 4－3 川　内　優　勝

●**第157回 九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選 (9/22～10/11)**
1 回 戦　本校 9－4 松　陽
2 回 戦　本校 9－4 加世田
3 回 戦　本校 3－2 鹿児島城西
準々決勝　本校 5－4 鹿屋農
準 決 勝　本校 8－7 徳之島
決　　勝　本校 2－14 神村学園　準優勝 九州大会出場

●**第157回 九州地区高等学校野球大会(10/26)**
1回戦　本校　1－2　小林西(宮崎)

男子駅伝部

●**県新人大会(9/17～19)**
800m　荒木　斗真　2分16秒08
5,000m　奥園　一颯　16分13秒62　第10位
朝戸　尊人　16分46秒89　第17位
1,500m　杉本　涼雅　4分22秒72
3,000m障害　平　翔太郎　9分41秒84　第4位

●**長崎ナイター（9/13）**
3,000m　荒木　斗真　10分13秒73
杉本　涼雅　9分52秒50
山口　蓮　9分37秒92
5,000m　平　範幸　17分15秒23
荒木　蓮斗　16分39秒76
3,000mSC　平　翔太郎　9分52秒34

●**鹿児島県高等学校駅伝競走大会(11/1)**
8位　2時間15分55秒
1区 10k 平　翔太郎　32分36秒　区間10位
2区 3k 荒木　蓮斗　8分54秒　区間7位
3区 8.1075k 愛下　慶士　28分20秒　区間13位
4区 8.0875k 西竹　慧大　25分05秒　区間2位
5区 3k 元村　瑛人　9分14秒　区間6位
6区 5k 福田　陽仁　16分42秒　区間8位
7区 5k 倉元　大智　15分04秒　区間4位

●**地区大会(11/5)**
3,000m　荒木　斗真　9分59秒88
山口　蓮　9分25秒67
5Kロード　元村　瑛人　15分39秒
杉本　涼雅　15分40秒

●**第５回 熊本県長距離記録会（12/13）**
5,000m　倉本大智　14分55秒61　1名出場

●**第66回 南日本通信ロードレース大会(12/14)**
10キロ
1位　愛下慶士　31分23秒　2位　西竹慧大　31分35秒
6位　荒木蓮斗　31分51秒　7位　平翔太郎　32分23秒
11位　福田陽仁　32分47秒　16位　平　範幸　33分16秒
17位　元村瑛人　33分23秒　19位　杉本涼雅　33分25秒
23位　黒田大翔　34分03秒　24位　荒木斗真　34分04秒

●**第63回　南日本長距離走大会(1/11)**
5,000m
11位　宮内　瞭　15分46秒03　16位　元村瑛人　16分00秒65
34位　杉本涼雅　16分24秒33　44位　東郷辰大　16分52秒58
46位　荒木斗真　16分53秒84
10キロ
56位　福田陽仁　31分18秒　60位　愛下慶士　31分26秒
85位　倉本大智　31分49秒　88位　西竹慧大　31分54秒
126位　平　範幸　32分27秒　129位　荒木斗真　32分30秒
159位　黒田大翔　33分03秒

●**第32回 高等学校新人駅伝競走大会（2/10）**
総合6位　1時間33分48秒
1区　7.6k　宮内瞭　23分22秒　区間8位
2区　2.8k　杉本涼雅　08分30秒　区間4位
3区　4.8k　奥園一颯　14分39秒　区間7位
4区　4.8k　元村瑛人　14分43秒　区間5位
5区　2.8k　荒木斗真　09分01秒　区間9位
6区　7.6k　平翔太郎　23分33秒　区間3位

女子駅伝部

●**県新人大会(9/17～19)**
800m　兼田　あい　2分44秒74
中村美璃椰　2分20秒85　決勝進出
決勝は欠場
1,500m　兼田　あい　5分32秒58　25位
3,000m　山之内　梓　11分24秒62　13位
内村　羽那　11分28秒43　15位

●**北薩・日置・南薩地区高等学校陸上競技大会(11/5)**
800m　兼田　あい　2分39秒45　中村美璃椰　2分27秒21
北山菜々花　2分27秒44
3,000m　内村　羽那　10分50秒12　小竹山萌香　12分02秒20
山之内　梓　12分06秒94
1,500m　中村美璃椰　4分54秒33　内村　羽那　5分04秒24
北山菜々花　5分26秒04　小竹山萌香　5分28秒99
山之内　梓　5分34秒59　兼田　あい　5分37秒75

●**鹿児島県高等学校駅伝競走大会(11/1)**
11位　1時間22分35秒
1区　6ｋ　内村　羽那　23分32秒　区間10位
2区　4.0975ｋ　小竹山萌香　16分29秒　区間13位
3区　3ｋ　北山菜々花　11分22秒　区間8位
4区　3ｋ　中村美璃椰　10分53秒　区間6位
5区　5ｋ　山之内　梓　20分19秒　区間13位

●**第32回 鹿児島県高等学校新人駅伝競走大会(2/10)**
総合7位　50分59秒
1区　4.0ｋ　内村　羽那　14分41秒　区間9位
2区　2.8ｋ　中村美璃椰　09分47秒　区間3位
3区　2.8ｋ　山之内　梓　10分39秒　区間7位
4区　4.0ｋ　小竹山萌香　15分52秒　区間11位

バドミントン部

●**令和７年度北薩地区高等学校秋季バドミントン大会(9/25・26)**
【男子個人】共通ダブルス　西田・江崎ペア　1回戦
共通シングルス　西田　2回戦
江崎　1回戦
1年シングルス　佐々木　ベスト4
【女子団体】決勝トーナメント・初戦
【女子個人】共通ダブルス　才新・平野ペア　準優勝
高田・廣島ペア　ベスト8
共通シングルス　平野　ベスト4
才新　ベスト8
松木　2回戦
高田・廣島　1回戦
1年ダブルス　積・林田ペア　ベスト8
本田・測上ペア　1回戦
1年シングルス　内　優勝
林田　第3位
積　ベスト4
引地・池林　1回戦

●**第58回鹿児島県高等学校新人バドミントン競技大会（九州選抜大会予選）(10/29・30)**
【男子個人】ダブルス　西田・佐々木ペア　1回戦
シングルス　佐々木　2回戦
江崎，西田　1回戦
【女子団体】２回戦敗退
【女子個人】ダブルス　才新・平野ペア，高田・廣島ペア　2回戦
積・林田ペア，松木・池林ペア　1回戦
シングルス　才新，平野，高田，内　2回戦
松木，廣島，積，林田　1回戦

ねこ同好会

10月17日 ねこねこ新聞　創刊号を発行
12月12日 公益財団法人 日本動物愛護協会へ文化祭での売り上げ金を寄付

男子サッカー部

●**県トップリーグ１部リーグ**
本校　1－0　樟南（9/13）
本校　1－1　鹿児島高校2nd（9/21）
本校　1－0　鹿児島情報（9/23）
本校　0－4　鹿児島ユナイテッド（10/4）
本校　3－0　鹿児島南（10/11）
本校　1－3　鹿児島城西next（10/18）
本校　2－1　鹿児島実業（12/13）　最終順位 5位

●**北薩秋季サッカー大会（9/24,25）**
予選リンク　本校　4－0　川内
準　決　勝　本校　2－0　川内商工
決　　勝　本校　3－0　れいめい　優勝

●**全国高校サッカー選手権大会鹿児島県（10/27～）**
1 回 戦　本校　12－0　奄美
2 回 戦　本校　3－0　鳳凰
3 回 戦　本校　6－0　加治木工業
準々決勝　本校　0－3　鹿児島実業

●**県高校新人サッカー大会（1/18～）**
2 回 戦　本校　1－0　ラ・サール
3 回 戦　本校　6－0　大島
準々決勝　本校　4－1　鹿児島実業
準 決 勝　本校　0－1　神村学園　ベスト4（3位）

女子サッカー部

●**KFA第34回鹿児島県高等学校女子サッカー選手権大会**
2回戦　本校 0－23　鳳凰　4位　(10/11)

男子バスケットボール部

●**令和７年度 北薩(出水)地区高等学校秋季バスケットボール大会(9/24･25)**
薩摩中央･鶴翔･本校×15－100 ○川内商工
薩摩中央･鶴翔･本校×12－142 ○川内
薩摩中央･鶴翔･本校×38－102 ○出水商業
薩摩中央･鶴翔･本校×51－ 71 ○出水工業
※７チーム中７位

●**第56回鹿児島県高等学校新人バスケットボール競技大会(1/17)**
1回戦　薩摩中央･鶴翔･本校 ×17－101 ○国分　※1回戦

女子バスケットボール部

●**令和７年度 北薩(出水)地区高等学校秋季バスケットボール大会(9/24･25)**
薩摩中央･鶴翔･本校×19－74○出水
薩摩中央･鶴翔･本校×26－92○川内商工
薩摩中央･鶴翔･本校×40－50○出水商業･野田女子
※６チーム中６位

軽音楽部

●**第２回鹿児島県高等学校文化連盟軽音楽新人コンテスト(12/26)**
バンド名：Veludaze
結果：コピー・カヴァー部門35エントリー中12位
バンド名：ディスカバリー
結果：コピー・カヴァー部門35エントリー中21位

和太鼓部

●**第20回鹿児島県高等学校文化連盟郷土芸能専門部発表大会(11/11)**
優秀賞

吹奏楽部

●**全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜(11/9)**
連盟理事長賞・来年度日本大会　シード権獲得

男子バレーボール部

●**令和７年度北薩地区高等学校秋季バレーボール大会(9/24～25)**
予　選　本校 0－2 川内商工
本校 0－2 出水工業
本校 0－2 川　内
順位決定　本校 2－1 薩摩中央
本校 2－0 れいめい　7チーム中5位

●**第78回全日本高等学校選手権大会 鹿児島県予選(10/31)**
1回戦　本校 2－1 鹿児島東
2回戦　本校 0－2 樟　南

●**第43回 出水地区６人制バレーボール大会(11/9)**
予選　本校 0－2 Passion
本校 0－2 高尾野排球団

●**令和７年度南九州私立高等学校バレーボール大会(12/13～14)**
予　選　本校 0－2 小林西
本校 0－2 鹿児島城西
順位決定　本校 0－2 鹿児島実業

●**第53回鹿児島県高等学校新人バレーボール大会(1/16～17)**
1回戦　本校 2－0 奄美
2回戦　本校 2－0 武岡台
3回戦　本校 0－2 鹿児島玉龍

女子バレーボール部

●**令和７年度北薩地区高等学校秋季バレーボール大会(9/24～25)**
予　選　本校 0－2 鶴翔
本校 2－0 れいめい
決勝リーグ　本校 2－0 鶴翔
本校 0－2 薩摩中央
本校 2－1 川内
本校 2－1 出水商業　7チーム中2位

●**第78回全日本高等学校選手権大会 鹿児島県予選(10/31～11/1)**
1回戦　本校 2－0 れいめい
2回戦　本校 0－2 鹿児島女子

●**第43回出水地区６人制バレーボール大会(11/9)**
予選　本校 0－2 Dream
本校 1－2 たのかんさぁ

●**有志会大会(12/20～21)**
予　選　本校 0－2 甲南
本校 2－0 鹿児島情報
３・４位パート　本校 2－1 鳳凰
本校 0－2 鹿児島玉龍

●**えびの市長旗争奪高校女子バレーボール大会(1/10～11)**
予　選　本校 0－2 小林西
本校 2－0 日向学院
3位パート　本校 1－2 宮崎大宮
本校 2－0 小林

●**第53回鹿児島県高等学校新人バレーボール大会(1/16)**
1回戦　本校 2－0 大島北
2回戦　本校 0－2 鹿屋中央

柔　道　部

●**北薩地区高体連秋季柔道大会(9/25)**
女子団体：優勝
男子団体：3位
男子個人　66㎏級　3　位　竹田　快晴
女子個人　48㎏級　優　勝　沖田　陽菜
57㎏級　準優勝　永田平若紗
63㎏級　優　勝　飯塚　心海

●**鹿児島県高等学校新人柔道大会(10/23,24)**
男子団体：予選　対　加治木工業
女子団体：3位…九州大会へ
男子個人：60㎏級…3位　松原　陽紘
女子個人：57㎏級…3位　永田平若紗

●**第29回九州高等学校新人柔道大会(11/15 長崎県諫早市)**
女子団体　佐賀工業(佐賀２位)　3－0 本校

放　送　部

●**第36回鹿児島県高校放送コンテスト(10/28)**
【アナウンス部門】福浦　百夏・湯元穂ノ香
本田　絆叶
【朗読部門】　尾崎　蘭・右田　彩夏
高橋　真紀（優良賞）
（九州大会出場（12/18-20沖縄））

●**第47回九州高校放送コンテスト沖縄大会(12/18~20)**
【朗読部門】高橋　真紀

地域リーダー同好会

９月13・14日　全国少年消防クラブ交流大会（鹿児島代表）広島県広島市
９月27日　南小国町マラソン大会　救護ボランティア
10月10日　出水市役所・出水市長表敬訪問
10月26日　米ノ津小学校災害訓練
11月15・16日　出水市大産業祭
１月12日　出水市消防出初式
２月14日　鹿児島県女性消防団員研修会・活動発表